

尚綱大学生によるレポート 29

意見交換会を終えて

10月5日(水)に、尚綱大学九品寺キャンパスにて広報委員4名と現代文化学部2年生の生徒34名とで意見交換会を行いました。



こうむら
黄 蘊 准教授

教員の視点 (黄) : 私の二つの異なる授業に半年1回大津町の議員たちにお話しに来ていただいています。毎回対面していただいている学生は異なるうえ、仮に同じ議員でも毎回そのお話しのポイント、内容が異なっており、私も楽しく拝聴させていただいています。今年4月に続き、今回も意見交換会を実施しました。前回とは趣の異なる学生レポートをご紹介します。

より多くの人に読んでもらえるように工夫をしている



2年

かめがた りな
兼武 里菜さん

私が意見交換会で特に印象に残ったのは、議員本人が議会だよりを作成していることです。中身の文章に議員の方々関わっているとは思っていたが、取り上げる内容や雑誌のデザインもしているというのは予想していませんでした。表紙や文章、レイアウト等をより多くの人に読んでもらえるように工夫をしていると知り凄く大変な作業だなと思いました。実際交換会で皆から意見を集めた時に私も気付かなかった視点が多く出たりして、人にメッセージや情報を伝える上で考えることの多さを感じました。

議員の方々の活動や議員になるまでの遍歴、なろうとしたきっかけ等多くのことを知ることができました。今回話をしてくださった方々は、皆さん最初から議員になろうとしていたわけではなく他の仕事から議員になった人が多かったです。議員になった理由も様々でとても興味深かったです。私は議員の方々には最初から目指している人が多いのかと思っていたので、色々な経歴の方がいることを意外に感じました。また、議員になっている方は自ら意見を出し行動力のある方が多いと思いました。

議会だよりを議員さん自身が作っていることに驚き



2年

ひがしやま なほ
東山 奈穂さん

これまでは議員と私たちは距離がある関係だと感じていましたが、今回の意見交換会を通して議員とは意外と身近な存在であることが分かりました。

まず、議会でどんなことを話しているのかを全く知りませんでした。大津町の議会では新しい学校の建設、ゴミ袋のサイズ、給食費の無償化、医療費の18歳までの無償化など私たちの生活に重要な話題について話し合っていました。

次に今回初めて大津町の議会だよりを読みました。大津町の16人の議員がトピックを取り上げ答えており、高校生や大学生の特集など盛りだくさんの内容を、議員らが作っていることに驚きました。議員自身が議員だよりを作ることで、町民の方にわかりやすく議会の内容を伝えることができました。これから自分の住んでいる地区の議会だよりもじっくり読んでみたいと思います。

みなさんのお話を聞いて今回来ていただいた4人の議員はそれぞれ異なるきっかけで議員になろうと決意したのだと分かりました。選挙に落選してしまったり、無職になってしまうリスクがある中で議員になると決心できる勇気がかっこいいなと思いました。